

健康づくり課

健康づくり課業務概要

1 特定健康診査・特定保健指導

生活習慣病の予防に重点を置いた取り組みが重要課題となるため、内臓脂肪型肥満に着目した「特定健康診査」を実施し、健診結果によりメタボリックシンドローム該当者・予備群を選定し、「特定保健指導」を実施した。

2 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に胃がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

3 子宮頸がん検診

20歳以上の女性市民を対象に子宮頸がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

4 乳がん検診

30歳以上の女性市民を対象に乳がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

5 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に肺がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

6 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に大腸がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

7 前立腺がん検診

50歳以上の5歳刻みの年齢の男性市民を対象に前立腺がんの早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的として実施した。

8 肝炎ウイルス検診

40歳以上の市民（過去に肝炎ウイルス検診に相当する検診を受診した者は除く）を対象に肝炎ウイルス検診の受診促進を図り、自身が感染の状況を認識し、必要に応じて医療機関で受診することにより、肝炎に関する健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的として実施した。

9 風しん抗体検査

先天性風しん症候群対策として、平成26年度より、妊娠を希望する女性及びその配偶者または妊婦の配偶者に対し、風しん抗体検査を実施した。

また、追加的対策として、令和元年度に、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対して、個別に勧奨通知を送付し、風しん抗体検査を実施した。

10 予防接種事業

予防接種法に基づき、ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎（ポリオ）・麻しん・風しん・日本脳炎・破傷風・結核（BCG）・Hib 感染症（ヒブ）・肺炎球菌感染症（小児がかかるものに限る）・ヒトパピローマウイルス感染症（HPV）・水痘・B 型肝炎・インフルエンザ・肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る）の定期予防接種を実施した。

肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る）については、市で独自に対象範囲を拡大し、65 歳以上で接種歴の無い市民を対象に実施した。

平成 30 年 1 月 1 日より、特別の理由により免疫が消失した子が受ける任意予防接種の費用助成を、平成 30 年 12 月 25 日より、風しんの抗体価が十分でない妊娠を希望する人及びその配偶者等、並びに風しんの抗体価が十分でない妊娠中の人の配偶者等に対し、風しん予防接種の費用助成を市独自に実施した。

11 一般介護予防事業

(1) 介護予防把握事業費

65 歳、70 歳、73 歳、75 歳以上の高齢者（要介護・要支援認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者を除く）を対象に、自身の生活や健康状態を振り返り、心身の機能が衰えていないかチェックしてもらうこと、及び生活機能の低下のおそれがある高齢者を早期に把握し、介護予防事業へ繋げることを目的として、市独自に開発した「健康スケール」による調査を実施した。

(2) 介護予防普及啓発事業

65 歳以上の高齢者を対象に、介護予防を目的として、運動機能の向上、栄養状態改善、口腔機能の向上、認知症予防の教室を実施した。

また、24 地区コミュニティ別の健康や社会参加等の現状と課題並びに論点を市民と共に整理し、その解決に向けて楽しみながら健康づくり及び介護予防に取り組み、地区コミュニティの活性化を図るため、市内 26 公民館において市民ヘルスマーケティングを実施した。

(3) 地域介護予防活動支援事業

市民が体操指導士となり、市民が相互に支えあって地域の健康づくりと介護予防に取り組み健康寿命の延伸を図ることを目的に、リハビリ的要素を取り入れたふなばしシルバーリハビリ体操推進事業を実施した。

また、介護予防活動の拠点づくりを支援するため、通いの場・体操教室などの地域住民が主体となる団体の活動に対して、活動費の一部を補助した。

(4) 地域リハビリテーション活動支援事業費

地域の住民主体の団体の介護予防活動に資する活動や、介護職等の質の向上を支援するために、リハビリテーションの知識、技術の指導・助言を行うリハビリテーション専門職等の派遣を実施した。

また、高齢者に、客観的な足腰の衰え度合いを簡単な 2 つのテストで自覚してもらうこと、リハビリ専門職等に運動についてアドバイスをもらい、運動機能が維持できるように生活習慣を見直してもらうこと、重篤な場合には地域包括支援センター等への相談を勧奨することを目的として、足腰の衰えチェック事業を実施した。

1 特定健康診査・特定保健指導

①船橋市国保の特定健康診査・特定保健指導の目標値

(単位：％)

区分	年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
特定健康診査受診率		60	50	52
特定保健指導実施率		60	35	40

※平成 29 年度の目標値は第 2 期、平成 30 年度から令和元年度は第 3 期「船橋市国民健康保険特定健康診査等実施計画」より

②船橋市国保の特定健康診査・特定保健指導実績

区分	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	実施者数 (人)	実施率 (%)
平成 29 年度	87,604	42,317	48.3	4,527	1,249	27.6
平成 30 年度	83,758	39,443	47.1	4,337	1,334	30.8
令和元年度	80,672	38,700	48.0	4,240	1,415	33.4

2 胃がん検診

①胃がん検診 エックス線検査 受診者実績

(単位：人)

区分	受診者数	要精密検査
平成 29 年度	4,981	555
平成 30 年度	3,837	335
令和元年度	3,468	273

※平成 29 年度より 40 歳以上の偶数年齢が対象

②胃がん検診 内視鏡検査 受診者実績

(単位：人)

区分	受診者数	要精密検査
平成 29 年度	4,699	224
平成 30 年度	4,936	77
令和元年度	5,891	74

※50 歳以上の偶数年齢が対象

3 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査 (要治療含む)
平成 29 年度		27,310	433
平成 30 年度		26,405	358
令和元年度		27,259	480

※20 歳以上の偶数年齢が対象

4 乳がん検診

①乳がん検診 超音波検査 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 29 年度		3,615	88
平成 30 年度		3,650	90
令和元年度		5,194	168

※30 歳代の偶数年齢が対象

②乳がん検診 マンモグラフィー 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 29 年度		20,013	1,775
平成 30 年度		18,072	1,908
令和元年度		21,568	2,615

※40 歳以上の偶数年齢が対象

5 肺がん検診

肺がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査	喀痰細胞診
平成 29 年度		85,793	2,933	1,867
平成 30 年度		83,964	3,149	1,688
令和元年度		83,828	3,054	1,505

6 大腸がん検診

大腸がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 29 年度		75,634	5,512
平成 30 年度		73,613	5,132
令和元年度		73,088	5,272

7 前立腺がん検診

前立腺がん検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	要精密検査
平成 29 年度		6,524	777
平成 30 年度		5,762	698
令和元年度		5,687	682

8 肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルス検診 受診者実績

(単位：人)

年度	区分	受診者数	HCV 抗体		HBs 抗原	
			陽性	陰性	陽性	陰性
平成 29 年度		8,830	27	8,795	51	8,760
平成 30 年度		7,736	26	7,697	53	7,672
令和元年度		7,817	10	7,784	41	7,757

9 風しん抗体検査

①風しん抗体検査（平成 26 年度より実施）

年度	区分	受診者数
平成 29 年度		881
平成 30 年度		3,158
令和元年度		1,533

②風しん抗体検査（追加的対策として、令和元年度より実施）

年度	区分	受診者数
令和元年度		6,749

10 予防接種事業

(1)乳幼児接種者数

(単位：人)

年度	区分	三種混合※1	MR※2	日本脳炎	BCG	ポリオ	四種混合※3	ヒブ	肺炎球菌	水痘	B型肝炎
平成29年度		0	10,322	22,276	5,048	184	20,283	19,996	20,077	9,803	15,078
平成30年度		1	10,188	21,811	4,943	56	20,057	19,755	19,765	9,671	14,635
令和元年度		3	10,024	19,246	4,694	11	18,840	18,152	18,854	9,482	13,607

※1 ジフテリア・百日せき・破傷風混合

※2 麻しん・風しん混合

※3 ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ混合

(2)児童・生徒等接種者数

(単位：人)

年度	区分	日本脳炎	二種混合※4	HPV
平成29年度		3,514	4,216	29
平成30年度		6,038	4,635	61
令和元年度		6,043	4,529	231

※4 ジフテリア・破傷風混合

(3)成人接種者数（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性）

(単位：人)

年度	区分	MR(麻しん風しん)
令和元年度		1,382

(4) 高齢者等接種者数

(単位：人)

年度 \ 区分	インフルエンザ (65歳以上)	インフルエンザ (60～64歳)	肺炎球菌 (65歳以上)	肺炎球菌 (60～64歳)
平成29年度	82,065	98	4,786	6
平成30年度	84,601	112	4,063	3
令和元年度	90,844	107	3,653	11

(5) 特別の理由による再接種費用助成事業利用者数

(単位：人)

年度 \ 区分	利用者数
平成29年度	1
平成30年度	4
令和元年度	2

(6) 風しん予防接種費用助成事業利用者数

(単位：人)

年度 \ 区分	妊娠を希望する人	妊娠を希望する人の 配偶者等	抗体価が低い 妊娠中の人の 配偶者等
平成30年度	166	79	17
令和元年度	545	161	65

1.1 一般介護予防事業

(1) 介護予防把握事業

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
健康スケール発送数(件)	37,949	75,005	75,580

※平成29年度までは、65歳及び特定健康診査・後期高齢者健康診査受診者を基本チェックリストの対象外にしていたが、平成30年度からは、これらについても対象とした。

平成30年度までは、基本チェックリストとして発送していた。

(2) 介護予防普及啓発事業

介護予防普及啓発事業実施状況

① 総合型 5 回コース

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度
実施コース 数	51	55	45
参加者数 (人)	563	429	565

② 総合型 8 回コース

年 度	平成 29 年度	平成 30 年 度	令和元年 度
実施コース 数	84	73	44
参加者数 (人)	660	545	522

③ 認知症予防 5 回コース

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度
実施コース 数	39	42	41
参加者数 (人)	483	482	498

④ 柔道整復師運動型 8 回コース

年 度	平成 29 年度	平成 30 年 度	令和元年 度
実施コース 数	20	30	30
参加者数 (人)	124	191	211

(3) 地域介護予防活動支援事業

①ふなばしシルバーリハビリ体操教室（市主催）

会場	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	実施回数 (回)	実施人数 (人)	実施回数 (回)	実施人数 (人)	実施回数 (回)	実施人数 (人)
保健福祉センター	23	1,959	0	0	0	0
公民館（共催）等	24	398	309	9,748	282	10,511
出前講座	25	590	23	617	17	361
その他	2	35	5	190	5	316
計	74	2,982	337	10,555	304	11,188

②ふなばしシルバーリハビリ体操教室（指導士主催）

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開催場所数（か所）	77	81	95
指導士（総数・人）	3,580	4,338	5,158
参加人数（総数・人）	21,095	22,818	23,139

③初級指導士養成実績

区分	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
養成コース数	6		6		6	
養成指導士数（人）	169		145		94	
性別内訳（人）	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	34	135	30	115	25	69

令和元年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、1 コースが途中で中止、養成が次年度へ延期となっている。

④上級指導士養成実績

区分	年度	平成 30 年度	
	養成コース数		1
養成指導士数（人）		10	
性別内訳（人）		男性	女性
		2	8

⑤アクティブシニア介護予防補助金事業

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補助団体数	83	71	74

(4)地域リハビリテーション活動支援事業

①リハビリ職等派遣支援事業

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
派遣団体数（件）	10	10	8

②足腰の衰えチェック事業

年 度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数（件）	217	398

※平成 30 年度についてはモデル事業とし、2 地区コミュニティ（海神・高根台）で実施した。令和元年度もモデル事業として、9 地区コミュニティ（宮本、海神、中山、法典、高根台、前原、薬円台、二和、豊富）で実施した。